

日本発ドイツ便り：フランクフルトの夕焼け

最近、旅行の最終日の夜は Frankfurt で一泊、という日程がお気に入りです。

私の旅行の日程は、大体関空に朝到着して、午後から会社、という「旅行の余韻に浸る間もなく強制社会復帰」のパターンが多いので、帰国便の前日は昼ごろのんびり出発して Frankfurt へ。買い食いして、お買い物して、お気に入りのレストランで食事して…。(いつぞはつい映画まで見に行っていました。)

翌朝は上手くいけば、ちょっと観光とかして、ゆっくり朝ごはん→お昼前くらいに空港へ→関空へ。

という「一日ワンフライト」の日程だとかなり楽なんです。☺

しかも勝手知ったる第4の故郷 Frankfurt の街ですもん。文句なしです。

ある夏の日、食事を終えて、いつものレストラン近くの Römer (レーマー) 広場へ。時間が 21:30 位。

ぼちぼち日が暮れてきて、お腹いっぱいのままベンチに座ってしばらく夕日を眺めていました。

街にはだんだん明かりが増えてきて、とっても綺麗です。ネオンとか、邪魔する明かり(邪魔する音も)がないのも良いです。広場にはたくさんレストランがありますが、もちろん外のテラス席はどこも一杯です。お気に入りの一枚。☺



だんだん暮れてきました。



フランクフルトは、ドイツで唯一高層ビルのある街（Mainhattanⁱ：メインハッタンって言います。）です。この Römer 広場から見る、Mainhattan のビルがちょっと見える眺めがお気に入りです。



これはフランクフルトではないですが、バイエルンのとある街（でも田舎じゃないです）で撮ったお気に入りの夕日の写真をいくつか。ビルとか電線とか、視界を遮るものがないので、ドイツの空は広く感じられます。なので、夕焼けがとても綺麗なんですよ。



秋～冬は日の暮れるのが早くて寒いので、夕焼け見物どころの騒ぎではないですが、春～夏はテラスでドリンク片手に夕焼け見物も良いですね。「毎日夕日を眺めています」という人は多分少数派だと思いますので、旅行中ならではの非日常ですかね。

これは 22:00 位の街の様子。通りにはたくさん人がいて賑わっています。レストランは少なくとも 24 時までは開いているし、映画館も夜の方が賑わいます。フランクフルトの夜はまだまだこれからです。（私は翌日フライトなので、早めに寝ますけどね。☺）

ⁱもちろんニューヨークの Manhattan のもじりです。ちなみに、フランクフルトの正式名称は、Frankfurt am Main：フランクフルト・アム・メイン。「メイン河沿いのフランクフルト」と言います。なので、Mainhattan なんです。